

透析施設チェックリスト ～院内感染対策を中心に～

院内感染を防止するための対策等が適切に実施されているかを点検するためのチェックリストです。自己点検欄に、次の区分で該当する記号を記入してください。

(チェックリスト記入要領)

記号 摘要

- 適正に実施している。
- △ 一部不適: ほぼ適正であるが、一部不適な部分がある。
- × 不適: 一部は実施しているが、不十分な場合を含む。
- － 該当なし

参考 厚生労働省ホームページ(医療安全対策について)内の「法令・通知等」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/>

公益社団法人日本透析医会ホームページ内のマニュアル・ガイドライン

http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/07_manual/

番号	調査項目	自己点検	調査結果	備考・参考
	院内感染防止			
	(1) 防止対策			
1	「透析医療における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(六訂版)」又はこの内容を踏まえた施設専用のマニュアルが整備され、職員に対して徹底されているか。			透析医療における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(六訂版)
2	院内感染対策マニュアルは適時見直しを行っているか。			
3	スタッフに対して透析の標準的的操作や感染症対策に関する教育が定期的に行われているか。			
	(2) 適正管理			
4	透析記録(患者毎、一回ごとの透析経過、診療内容、担当者名の記録)を作成しているか。			
5	透析に使用する医療機器等は患者ごとに滅菌したものか、ディスポーザブル製品を使用しているか。			
6	スタッフが透析操作前後に手洗いを容易にできる十分な手洗い設備があり、手指消毒のための備品(速乾性アルコール消毒剤、ペーパータオル等)が適切な場所に設置されているか。			
7	透析に使用する注射薬等を準備する場所は、血液汚染の危険がない清潔な区域であるか。			
8	清潔区域と不潔区域が区別され、職員の動線は、汚染防止を考慮し、クロスすることのないようにされているか。			
9	肝炎ウイルス陽性の患者は透析室内の一定の位置に固定して透析されているか。			
10	患者に対して、肝炎ウイルスの検査を年2回以上定期的に行っているか。			血液浄化療法における血液回路の接続部位のルアーロック化について(平成21年9月24日付け医政総発0924第1号・薬食安発0924第1号)
11	検査結果は患者に告知し、説明、教育指導を行っているか。			